

# 情報連絡員報告総括表(令和2年5月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品			4	2	1	1		4			3	1			4		2	2		1	3		4				4					
	織 維 工 業			3	1	2			2	1		2	1			3		1	2		1	2		3				3					
	木 材 ・ 木 製 品			1	1					1			1			1		1				1			1				1				
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		1	1		1	1		2				2		2				2		2				2					
	印 刷			1		1			1				1			1			1			1		1				1					
	化 学 ・ ゴ ム																																
	窯 業 ・ 土 石 製 品			3	1	2			3			3				3		1	2			3		3				3					
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1		1			1				1		1				1		1				1					
	一 般 機 器			3	1	1	1		2	1		2	1			3			3			3		2	1			3					
	電 気 機 器			1		1			1			1				1			1			1		1				1					
	輸 送 機 器			1			1		1			1				1			1			1			1			1					
	そ の 他																																
小 計			20	6	9	5		16	4		15	5			20		8	12		2	18		17	3			20						
非 製 造 業	卸 売 業			2		1	1		2			2			2		2		X				2				2						
	小 売 業			6	1	3	2		5	1		3	3		1	5		1				5			6			1	5				
	商 店 街			1			1		1			1			1			1								1				1			
	サ ー ビ ス 業		2	3	X				4	1		4	1		2	3		2				3				3	2		2	3			
	建 設 業	1	3						4			4			4			4					3	1				4			4		
	運 輸 業			1								1			1			1					1					1					1
	そ の 他			1								1			1			1					1					1					1
小 計	1	5	14	1				4	4		18	2		15	5		7	13		10	10			17	3		7	13					
合 計	1	5	34	7				13	9		34	6		30	10		7	33		18	22		2	18		34	6		7	33			

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(令和元年5月～令和2年5月)

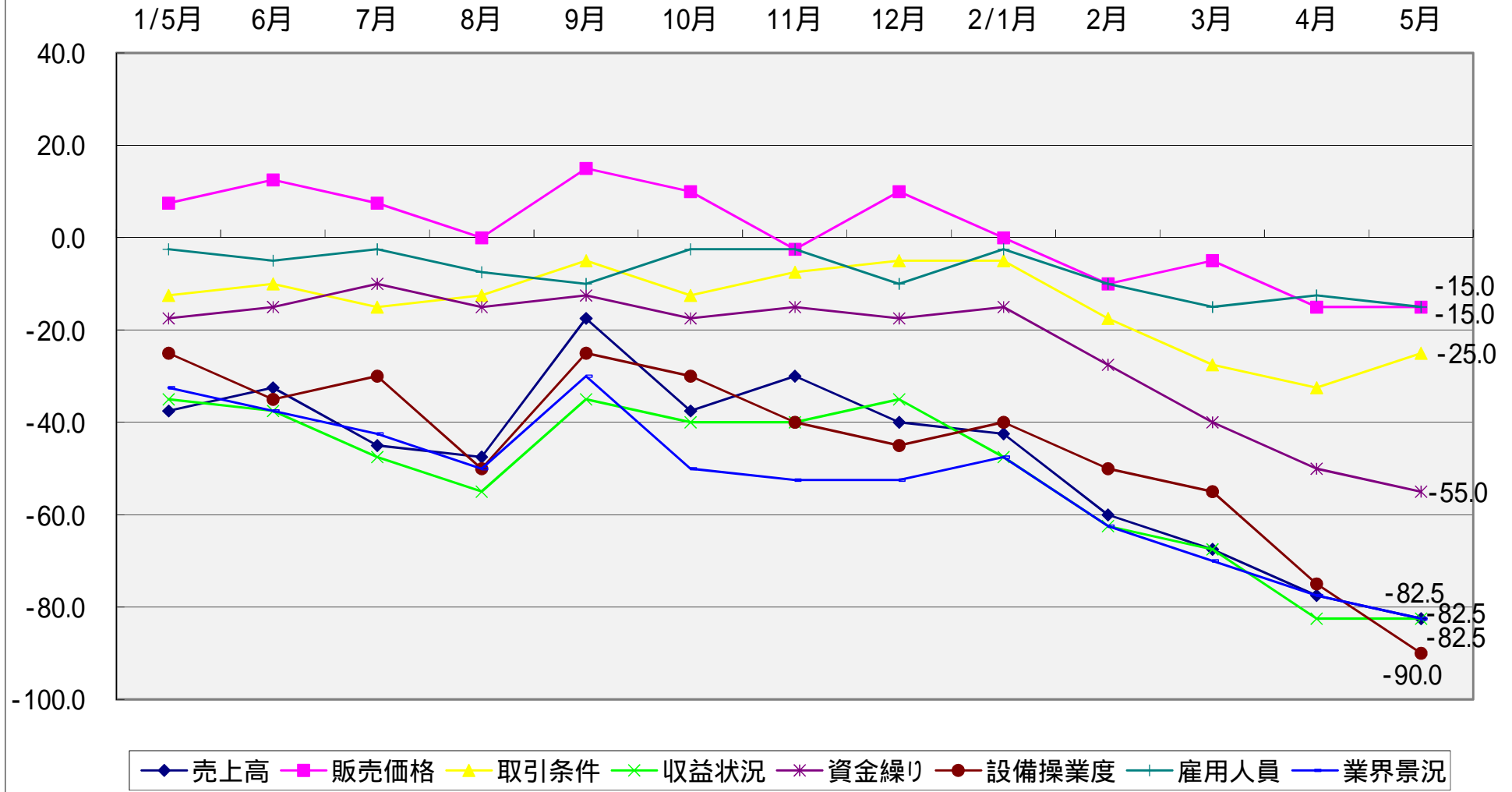
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-60.0	-67.5	-77.5	-82.5	-5.0
販売価格	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	10.0	0.0	-10.0	-5.0	-15.0	-15.0	0.0
取引条件	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	-17.5	-27.5	-32.5	-25.0	7.5
収益状況	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-62.5	-67.5	-82.5	-82.5	0.0
資金繰り	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	-27.5	-40.0	-50.0	-55.0	-5.0
設備操業度	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-45.0	-40.0	-50.0	-55.0	-75.0	-90.0	-15.0
雇用人員	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-10.0	-2.5	-10.0	-15.0	-12.5	-15.0	-2.5
業界景況	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	-62.5	-70.0	-77.5	-82.5	-5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。第48回通常総会を5月26日に津で開催した。外国人技能実習評価試験を7月ないし8月上旬に予定しており、三重県からは2社5名が受験予定。全連済総会は5月29日Web総会で開催された。中部ブロックの漬物製造管理士技能評価試験は9月6日に開催を予定している。
	醤油味噌	コロナショックで多くが減収。特に学校給食や外食を先に持つ組合員においては、5割、4割の減収があった。ぼつぼつ営業再開となりつつも客足は減り、なかなか元には戻りそうもない。無利子、無担保融資を申し込んだ。会議も書面議決が多い。早期回復を期待したい。
	豆腐	3月、4月に引き続き、コロナの影響で学校給食への納品はゼロ、外食産業への納品も9割減である。
	製麺	5月も緊急事態宣言が発令され、物の流れが大きく変わってきた。5月25日より学校も一部始まりだした。Zoom等を使って会議を行っている。飲食店、パークングエリア等外食がようやく動き出したが、お客様の動きがまだまだ悪い状況である。今後の状況をチャンスに変えて取組んでいく。
繊維工業	組紐	4月は受注残の納品等があったが、5月に入り新たな発注もなく、一次問屋、二次問屋ともに4月より一段と商品の流通が悪化している。例年の流れも6月～7月が和装品の端境期となるので、今後不安。
	衣料縫製	現況の中、前向きに思っているものの、先行きは不透明である。このまま状況が変わらないようであれば、廃業等も増えるのではないかと危惧している。
	テントシート	5月に入り、受注は徐々に戻り始めてきたようだが、前年の5月と比較すると売上はかなり減少している。前年通りの業況に戻るまでにはしばらく時間がかかりそうに思われる。
紙・紙加工品	紙器段ボール	非常事態宣言による自粛生活が続く中、中食向けの食品加工用の段ボールを中心にまずまずの数量を確保できていた。5月連休明けはその反動もあり、食品メーカーは調整に入り、需要が低迷気味である。また自動車関連も減産を継続していて、受注量はマイナスである。前年同月対比で10%～30%ぐらいマイナス傾向であると思われる。
	古紙	5月期の古紙仕入量は：段ボールは約96±3%位、新聞、チラシは約84±8%位、雑誌・雑紙、その他を合わせて約96±15%位。新入社員の発熱報告の対応等で難儀をしたが結果、続く発熱は同乗者や他の社員等に無く20日以上経過し安堵した。古紙の発生については段ボールは巣ごもり・テレワーク等の要因で飲食料、ネット通販等・ゲーム、パソコン等が増加し、業者向け・サービス業向け等減少の結果、前年比微減の様。新聞チラシは、本誌の重量・ページ減とチラシ6割～7割程減。加えてコロナ感染予防で資源回収がほぼ中止。合わせて約2割から3割程減少した。雑誌・雑紙は、例年減少し続けた結果と5月長期休暇の巣ごもり片づけが要因で一時的に大幅な増加を示す割合数字となった。少子高齢化と人口減少と電子媒体の普及は変わらず、今後の発生は期待できない。古着も例年比・約140%程の集荷であるが売り先が無くコロナ要因で製品工場や輸出港湾等も停止しニュースとなった。国内の一部地域では焼却処分のような状態である。製紙会社様の生産は段ボール1～5%減、ボール紙2～3割減、印刷用紙等も1～4割減となっている様で古紙の購入量は約2割程減少している。国内に売れない古紙は約20～60%程の、国内価格比で赤字輸出をしているが以前より持ち直している。古紙の持寄り行為は改善した印象であるが無くならない。ゴミの不法投棄等は巣ごもり片づけと合わせて「ついでに」、「ゴミの排出日待ちがめんどくさい」、「ゴミ袋代等出費節減」等が原因なのか判明していないが、悪化した感がある。
印刷	印刷	今年度は、当組合も書面議決での総会となった。新型コロナウイルスの影響は、さらに深刻な状況。雇用の調整や緊急融資の申請を行い、さらには昨年同月比の売上が50%以上減少している組合員もでてきた。
窯業・土石製品	伊賀焼	5月は新型コロナウイルス感染予防対策のため、5月29日まで休館していた。休館が続いたため、会館については売上、陶芸教室とも「無」の状態であった。6月からは開館しているが、客足が戻るかが、心配である。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の5月度の生産額は4月よりも更に落ち込んだ。特に自動車メーカーの減産の煽りを受け、各自動車部品メーカーの操業日数の減少が5月半ばより始まり、当業界への波及が顕著に表れた。しかしながら、半導体製造装置部品は前月並みに伸び、それに伴う人員確保は他のラインでの人員削減部分を当て、対応している。
一般機器	四日市	新型コロナウイルス感染症の緊急非常事態宣言は解除されたが、その間に弱り切った経済状況は悪化の一途を辿っている。この後どうなるのか、全く予想がつかない。
	津市	コロナウイルスの関係で5月の受注は大幅に悪化。取引先についても5月ゴールデンウィークの休暇拡大に続き、6月も週に1～2日休業する所が多くなってきた。組合員の2社も6月は休業する予定で、先が見通せない。
	伊勢	今月も新型コロナウイルス感染拡大を受けて落ち込みは更に大きくなってきた。今後についてもこの事態が解消されない限り、さらに深刻な影響が懸念される。
電気機器	鳥羽	新型コロナウイルスの影響が1ヶ月遅れて出てきている。受注の減少が10～15%ダウンしかけている。
輸送機器	鈴鹿	一次下請企業等の休業による情報伝達の遅れに起因すると考えられる急な計画変更が横行しており、末端企業では生産管理、人員管理に苦慮している。雇用調整助成金を活用して人件費の負担を減らしている組合員企業は多いが、小規模な工場では従業員を休業させて、助成金や時間外割増賃金の対象外である社員や管理職らが配送作業や休日返上で現場作業等、普段以上の過重労働に従事する等の努力により凌いでいる状況である。
	青果	野菜前半：兵庫産、愛知産の新玉葱は消費が伸びず北海道産が4月まで残り、外食や給食での需要が少なく豊作傾向の中、価格は例年に比べて安い。らっきょうは高知産、徳島産が順調に入荷。県内産五ヶ所の小梅も入荷が始まる。野菜後半：トマト、なす、きゅうり等果菜類がやや安い。らっきょうも最盛期に人気の高い鳥取産の入荷が始まり、価格も例年並み。大梅も県内産、和歌山産が入荷。今年はやや不作で値段は昨年より高い。果物前半：島根産デラウエアがピークで価格の落ち着いてきた。山形産さくらんぼも順調に入荷。スイカは熊本産が出荷ピークでハウス栽培で味も安定している。果物後半：愛知産メロン、イローキューブ、タカミメロンの入荷が多くなり、お手頃。愛知産のスイカが一番生りで味は良い。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	自転車	現今の状況下、この業界は皆様と同様、先行きへの期待は全く持てない程、打ちのめされている。売るには仕入れがままならず、点検修理整備も人の動きがとめられている中、なかなか増えない。しかし自転車を世界的視野で見ると欧米では非常事態宣言中、有用有益な交通手段として大きく見直されている。その証査として世界的な自転車部品メーカーのシマノ工業の株価は過去最高となっている。欧米諸国では行政が既に大きく動き出している。
	電器	新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に緊急事態宣言以降、電気店様の活動も更に慎重になっている。感染に対する心理的な影響もあり、お客様への活動が消極的になりつつある。また、各メーカーの春の合同展示会も中止となり、今後に及ぼす影響が大変心配な要因となった。特に5月以降のエアコンを中心とする夏物商品販売にも既に影響が出てきている。苦戦中である。更に、部品供給の遅れから、商品の品切れも顕著になり、販売に影響が出てきている。今後の状況は新型コロナの感染状況と支援策の浸透に大きく左右されると思われる。
	石油	5月の県内ガソリン等店頭販売価格は4月以前の中東原油(ドバイ)価格の大幅な下落も落ち着きを取り戻し店頭看板価格も多少上昇気味ではあるが、新型コロナウイルスの感染防止により非常事態宣言を受け、外出を抑えた事でガソリン等の販売を激減させる結果となった。また特に伊勢・鳥羽方面の観光客の激減によりホテル等の消費が激減し、当地域の石油販売事業所の売り上げを大きく圧迫している。三重県においては5月15日に非常事態宣言が解除されたものの、車等の移動が控えられているのが現状であり、石油販売事業者の厳しい資金繰り状態が続いている。
	スポーツ	緊急事態宣言を受け、組合員の店はほとんど休んでいたようである。一部、時短と隔日営業の店もあったらしい。スポーツ施設やグラウンド、学校も全て閉鎖、クラブ活動も自粛の中、営業のやりようがない一ヶ月であった。売上も半減から8割減の店もあるようである。補助金申請も容易に書けるものではなく、大変な事になってきている。
商店街	熊野市	緊急事態宣言の影響は非常に大きく、ほとんどの店舗に大きく影響があった。特に従来なら大型連休になるこの時期にかき入れ時となる観光に携わる事業者は今後のことを含め将来を不安視する者も多い。7月にはじまる国の補助施策を期待する声が多いが、今後は継続的な支援策も必要と感じる。
サービス業	自動車整備	新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車業界では新車販売台数が大きく減少している。
	旅館	4月20日三重県から発出された5月のゴールデンウィーク期間の休業要請により、一部の旅館以外はほとんどの施設が休業した。またその後も休業の延長要請が出たため、5月中に休業する施設が多かった。わずかな休業補償にも関わらず、ゴールデンウィーク中の感染拡大防止を判断された知事の判断に従った事が結果として出たものと思われる。
	測量	また1社退会があり7社になった。景気の悪化による民間の発注減りは避けられないだろう。仕事柄、コロナウイルス感染の可能性は少なく作業には影響なし。伊勢市発注測量公共事業において、例年より多く発注されている。
	警備	本年のゴールデンウィークはコロナウイルスによる緊急事態宣言発令中であったため、ほとんどのイベントが中止となり、また従来から公共事業も4月中に終了したため、5月は低調であった。
建設業	内装工事業	5月も対前年同月比で増加となった。連休もあり5月は毎年売上が少ないが、コロナウイルスの影響が出てくるのは6月以降かもしれない。
	水道工事業 (亀山)	特になし。(引き続きコロナにより物品の納期に時間がかかる。)
運輸業	トラック	先月の燃料価格は原油価格の暴落により底値となっていたが、5月は1.1%の上昇となった。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、中小企業の業績は大幅に落ち込んでおり、宅配以外の一般貨物を取り扱う運送事業者については、輸送数量、営業収入とも大きく落ち込んでいる。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	4月に補助金講習会を松本圭史講師に行ってもらい、とても分かり易く勉強になり、感謝している。またいろいろと教えてもらいたい。
紙・紙加工品	古紙	第1波が過去より第2波の襲来が心配される今日この頃、沢山の皆様がお亡くなりになり残念である。発熱したら病院に行くのが当たり前の日本国なのに病院での感染者を出しにくくするために37.5度以上の発熱で4日以上続いた場合の検査と通院条件が命取りになった皆様がお見えになる様に思えてならない。医療崩壊は大都市圏で防げた印象ですが第2波以降は明日は我が身である。組合員も経営者も社員も家族も取り巻く皆様も大切な社会の一員で取り返しがつかない。不幸な事故がより少なくなる様に検査薬や治療薬や治療機器等の準備を宜しく願いたい。
一般機器	四日市	政府の対策、対応が全て遅い。思い切った救済手段を実行してもらいたい。このままでは大変な事になってしまう。
	伊勢	技能実習3号終了時の試験(随時2級)を三重県で受験できるように願いたい。
小売	スポーツ	持続化給付金、雇用調整助成金等、政府もいろいろ考えてくれているようであるが、申請書の中身を作成するのが素人ではとても切ないが書ききれない。日本の役所の無力さに驚いている。
サービス業	旅館	市内、県内等で"近くへ行こう"のキャンペーンを早く打ち出して、自粛の気分が解消していくような対策を要望する。
	測量	各社に緩やかな成長をと呼びかけているが思うようにいっていない。
	警備	公共工事等の早期発注をお願いしたい。